

平成22年度（平成21年度対象）
教育委員会点検・評価報告書

平成23年1月
岡崎市教育委員会

目次

1	点検・評価制度の概要	1
(1)	点検・評価の趣旨	
(2)	点検・評価の方法	
(3)	外部評価	
2	事務事業評価の概要	2
(1)	事務事業評価の目的	
(2)	基礎事業評価表の見方	
3	平成22年度事務事業評価の状況	4
(1)	評価対象基礎事業・業務活動一覧	
(2)	基礎事業の総合評価、今後の方針結果	
(3)	業務活動の総合評価、今後の方針結果	
4	外部評価結果	12
5	基礎事業評価表	19

1 点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育事務の点検及び評価等に関する規定が追加されました。

これにより、平成20年4月1日から、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。また、点検及び評価を行うに当たっては、その客観性を確保するため、学識経験者の知見の活用を図ることとされました。

点検・評価の取組みを通じて、さらに効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表し、市民の皆様への説明責任を果たします。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の方法

本市では、成果重視の行政経営を進め、説明責任の徹底等を図るため、平成15年から事務事業評価を導入し、平成17年度からは対象を全事務事業に拡大しました。教育事務の点検・評価も、この事務事業評価を活用しています。

手順としては、決算等の実績に基づき、前年度の業務活動及び基礎事業について担当部署が業務活動評価表及び基礎事業評価表を作成し、今後の方向性等を評価します（1次評価）。この評価結果について事務事業評価制度主管課が再評価を行い（2次評価）、その指摘を受けて再度担当部署が評価を行います。

(3) 外部評価

点検・評価の客観性を高めるため、愛知教育大学名誉教授の仲井豊氏に、選定した20件の業務活動に対し評価をしていただきました。

2 事務事業評価の概要

(1) 事務事業評価の目的

- ア 事業の計画を立て実施するという行政運営のなかで、事業の実施結果を内容や実施方法について分析、評価し、次の計画に改善を生かして、改革していくこと。
- イ 事業の目的を明確にし、投入した予算や人員でどれだけの成果を上げたかという内容を市民にわかりやすく説明すること。
- ウ 評価結果の公表により、行政活動の透明性の向上を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民の市政への理解や共通認識を深めること。
- エ 市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応した、戦略的な計画立案、予算配分を行うこと。
- オ 限られた経営資源（ヒト、モノ、カネ）を最適配分し、その配分された経営資源が最も効率よく行政活動に結びつくようにすること。
- カ 市職員が従来の仕事のやり方を見直し、自ら課題を見つけ改革・改善を行う経営的視点を持った職員へ意識改革を図ること。

(2) 基礎事業評価表の見方

業務活動の直接的な成果が波及して発生する“中間的な成果”が共通する業務活動を集約したものを基礎事業の単位として評価しています。業務活動の評価内容は「基礎事業を構成する業務活動の評価」のページに反映されます。

基礎事業評価表の評価に関する記載内容の説明については、次のとおりです。

ア 総合評価

各評価項目における選択結果に応じて、自動的に総合点が加算され、A～Dの4段階で区分されます。各項目のウェイトや特殊な事情は考慮されていないため、この評価結果に補足する事項があるときは、その右欄に説明が加えてあります。

区分	総合評価の考え方
A	今後も業務活動を現状（計画・予定）どおり進めることが妥当
B	構成する業務活動に改善を行う余地がある
C	構成する業務活動の大幅な見直しが必要
D	有効でない業務活動があり、業務活動の廃止や休止を含め、事業のあり方について抜本的に検討する必要がある

イ 優先度

基礎事業を構成するすべての業務活動を相対的に比較し、どの業務活動を重視するのか（優先的に予算配分をする業務活動はどれか）を分析し、業務活動ごとに「高」、「中」、「低」の3段階で優先順位を付けています。

市の裁量に関わらず法令や条例により実施が義務付けられた業務や内部管理業務は「高」としています。

ウ 貢献度

業務活動が上位の施策の目的を達成するための有効な手段となっているかをA～Dの4段階で評価しています。Aに近いほど貢献度が高いことを表します。

エ 目標達成度

業務活動の成果について、目標（成果・活動）指標、定性目標の達成状況をもとにA～Dの4段階で評価しています。Aに近いほど目標達成度が高いことを表します。

オ 総合評価（業務活動）

アと同様です。

3 平成22年度事務事業評価の状況

(1) 評価対象基礎事業・業務活動一覧

担当課	基礎事業名	業務活動名	
総務課	寄宿舍総務管理事業	寄宿舍管理	
		通学バス管理	
	教育委員会運営事業	教育委員会運営	
	教育委員会事務局運営事業	教育ネットワーク管理	
		小中学校等巡回郵便	
		閉校関連	
	就学支援事業	奨学金関連	
		私立高校等授業料補助	
	小学校総務管理事業	小学校パソコン教室管理	
		小学校校内LAN整備	
		小学校管理	
		小学校教育振興用備品等整備	
		小学校備品整備	
	中学校総務管理事業	中学校パソコン教室管理	
		中学校校内LAN整備	
		中学校管理	
		中学校教育振興用備品等整備	
		中学校備品整備	
	施設課	寄宿舍維持管理事業	寄宿舍施設管理
		寄宿舍整備事業	寄宿舍施設整備
小学校維持管理事業		小学校施設維持管理	
小学校整備事業		小学校校舎耐震補強	
		男川小学校校舎増築	
		小学校プール施設整備	
		小学校屋内運動場天井改修	
		小学校校舎整備	
		小学校校舎耐震補強関連	
		小学校校舎等一般整備	
		小学校校地整備	
		小学校校内LAN整備	
		上地小学校屋外倉庫増築	
		豊富小学校校舎改築	
矢作南小学校校舎増築			
竜美丘小学校職員室拡張			

	中学校維持管理事業	中学校施設維持管理
	中学校整備事業	中学校校舎耐震補強
		中学校新設
		城北中学校プール改築
		河合中学校屋外倉庫増築
		中学校プール施設整備
		中学校校舎整備
		中学校校舎耐震補強関連
		中学校校舎等一般整備
		中学校校内LAN整備
		竜海中学校擁壁調査
保健給食課	学校給食事業	東部学校給食センター建設
		学校給食センター管理運営
		学校給食センター施設整備
		学校給食センター備品整備
		学校給食委託
		学校給食費補助
	学校保健事業	学校保健・環境衛生関連（小中学校）
	児童生徒園児等健康診断（小中学校）	
学校指導課	学校管理事業	指導書等購入（学習指導要領全面改訂）
		児童・教師用指導書購入
		小学校環境緑化
		生徒・教師用指導書購入
		中学校環境緑化
		教育活動支援
		「岡崎市教員免許状更新講習」開設
		各種体育大会審判員・救護員派遣
		学校関係者評価推進
		学校図書館支援員配置
		健全育成推進
		小学校英語指導補助者派遣
		理科支援員配置
		オピニオン・サークル活動推進
		マルチメディア開発・活用
		英語スピーチフェスティバル開催
		科学技術・理科教育振興
外国語指導助手招致		

	各種小中学校大会派遣補助
	技術家庭科作品展開催
	現職教育研修
	山の学習推進
	指導研修
	児童生徒活動リーダー研修
	児童生徒指導
	集合学習
	集合学習・ふるさと交流活動推進
	書初め開催
	小中学校吹奏楽祭開催
	心と体の健康教育推進
	生活・総合学習推進
	生徒市議会
	体育行事活動等推進
	中学校部活動指導
	中学生の主張コンクール開催
	特色ある学校づくり推進
	読書感想文・感想画コンクール開催
	日本語教育講師派遣
	文化行事開催
	野外造形展開催
教育研究事業	教育文化館管理運営事業
	仮)総合教育センター設立
	教育相談センター管理運営事業
	メンタルサポーター活用
	環境教育推進
	特別支援教育支援員活用
	「岡崎教育史要」編集
	ハートピア岡崎運営
	英語教育課程研究
	環境科プログラム推進
	基礎学力向上教材研究
	教育研究委託
	教育研究論文
	教育文化賞
	教員研修費補助
	郷土読本「岡崎」編集

		心の電話運営
		特別支援教育推進活動
		不登校相談室
		不登校対策
		幼保小連携
	緊急雇用創出事業	学校ITインストラクター訪問
	市民大学事業	市民大学実施
	私立学校振興等補助事業	外国人学校通学費特別補助
		私立学校振興補助
		民族理解教育業務費補助
	社会教育研究事業	(仮)子ども科学館設立
	就学援助事業	準要保護児童学校給食扶助(小学校)
		準要保護生徒学校給食扶助(中学校)
		小学校通学バス運行
		小学校通学費交付
		中学校通学費補助
		特別支援教育就学奨励(小学校)
		特別支援教育就学奨励(中学校)
		要・準要保護児童就学援助(小学校)
		要・準要保護生徒就学援助(中学校)
	地域保健推進事業	竜美丘健診センター管理運営
	都市交流事業	姉妹友好都市交流
		友好都市交流
少年自然の家	少年自然の家管理運営事業	少年自然の家管理運営
		少年自然の家施設整備
スポーツ振興課	スポーツ活動支援事業	スポーツ振興計画策定
		スポーツ競技支援
		スポーツ大会運営委託
		スポーツ大会開催
		ニュースポーツ推進
		岡崎市体育協会補助
		学校体育施設開放
		高校野球大会誘致
		地域市民スポーツ振興補助
		スポーツ施設整備事業
	陸上競技場建設	
	スポーツ施設維持管理	
	スポーツ施設整備	

		岡崎市体育館維持管理運営
		岡崎市体育館運営委託
		岡崎市体育館施設整備
		地区体育館維持管理運営
社会教育課	家庭教育推進事業	P T A 活動支援
		家庭教育啓発
		家庭教育講座開催
		家庭教育推進モデル地区事業委託
		子育て講座開催
	生涯学習推進事業	地域生涯学習講座開催支援
		学区社会教育委員会運営補助
		社会教育事業指導助言
		社会教育審議会運営
	青少年健全育成推進事業	成人式開催業務
		少年愛護センター管理運営
		六名会館管理運営
		健全育成啓発
		青少年問題協議会開催
	文化財整備活用事業	旧本多邸復元活用
		新編岡崎市史額田資料編編さん
		文化財教室開催
		文化財普及
		悠紀の里整備
		近代化遺産保存復元活用
		悠紀斎田広場整備
	文化財保存管理事業	埋蔵文化財調査
		発掘調査出土整理及び報告書作成
		大樹寺大方丈障壁画保存修理
		甲山寺両界曼荼羅図保存修理
		無形民俗文化財保存育成活動費補助
		指定文化財管理費補助
		日吉山王社等総合調査
		ゲンジボタル保護関連
		史跡等環境整備
		文化財保存管理
		文化財保護
六所神社防災設備設置		
大樹寺伽藍（大方丈）保存修理		

		真福寺塑像仏頭保存修理
		須賀神社祭礼山車保存修理
		矢作町3区祭礼山車保存修理
		奥山田のしだれ桜保存修理
		白山神社大きくす保存修理
視聴覚ライブラリー	視聴覚事業	デジタル放送対応システム整備
		ビデオ講習会実施
		機関紙発行
		校内放送講習会
		視聴覚ライブラリー管理運営
		視聴覚ライブラリー備品整備
		視聴覚事業啓発
		自作視聴覚教材コンクール実施
		親子映画会開催
青少年センター・太陽の城	太陽の城管理運営事業	ウィークエンド活動推進事業
		おやこの広場・おやこの体操
		コンサート開催
		青少年センター管理運営
		青少年センター施設整備
		造形教室
市立中央図書館	緊急雇用創出事業	ジャズコレクション音源デジタル化
		ジャズコレクション関係資料整理
		映像資料デジタル化
		中央図書館資料整備
		中央図書館書誌データ置換
	図書館運営事業	図書館協議会運営
		図書館管理
		額田図書館管理運営
		図書書誌データ整備
		レファレンスサービス提供
		資料整理・管理
		インターネット情報提供
		コピーサービス実施
		図書提供サービス
		電算システム運用
		図書館相互貸借
		地域図書室サービス支援
		児童サービス提供

		自動車文庫運営
		ハンディキャップサービス
		各種講座開催
		南部市民センター図書室運営
	生涯学習推進事業	岡崎むかし館運営事業
		ジャズコレクション展示室運営事業
市民活動総合支援センター	サポーター活動支援事業	サポーター活動支援
	高齢者教室開催事業	市民センター高齢者教室開催
	市民センター管理運営事業	市民センター管理運営
		市民センター施設整備
	市民活動センター運営事業	市民活動センター運営
	市民活動活性化事業	地域交流センター指定管理者公募選定
		西部地域交流センター管理運営
		南部地域交流センター管理運営
		北部地域交流センター管理運営
	自主事業運営事業	ジャズの街岡崎推進
	生涯学習講師育成事業	生涯学習講師育成
	生涯学習推進事業	情報誌発行
		市民センター講座
		市民カレッジ大学開放講座
		生涯学習推進計画策定
多文化共生拠点事業	L I C C 講座開催・相談・支援	
	L I C C 自主事業運営委員会委託	
男女共同参画推進事業	男女共同参画講座・講演会開催	
	男女共同参画相談	
総務管理課	自主事業運営事業	自主事業運営
	図書館交流プラザ管理運営事業	周辺駐車場利用料金負担
		図書館交流プラザ管理運営

(2) 基礎事業の総合評価、今後の方針結果

総合評価	A	B	C	D	計
	24	20	2	0	46
	52.2%	43.5%	4.3%	0%	
今後の方針	拡大・充実	継続	改善	縮小	
	6	36	1	0	
	13%	78.3%	2.2%	0%	
	統合	廃止	完了	計	
	3	0	0	46	
	6.5%	0%	0%		

(3) 業務活動の総合評価、今後の方針結果

総合評価	A	B	C	D	計
	32	172	22	2	228
	13.1%	70.5%	9.0%	0.8%	
今後の方針	拡大・充実	継続	改善	縮小	統合
	7	188	6	1	6
	2.9%	77.0%	2.5%	0.4%	2.5%
	廃止	休止	完了	計	
	3	0	7	218	
	1.2%	0%	2.9%		

総合評価にあつては平成22年度から新たに始まった新規業務等について、今後の方針にあつては平成22年度から新たに始まった新規業務及び平成21年度で廃止、完了した業務等について、入力がないため、業務活動の総合計数とは一致しません。

4 外部評価結果

愛知教育大学名誉教授の仲井豊氏に外部評価を依頼し、次のとおりご意見やご助言をいただきました。

	担当課	基礎事業名	業務活動名	外部評価
1	総務課	就学支援事業	奨学金関連	<p>経済的理由で就学困難な学生・生徒や保護者に対し、奨学金を支給・貸付する事業が岡崎市として長年なされてきたことは大変有意義なことである。昨今のように経済的不況のなかではこの奨学金制度の果たす役割は非常に重要である。勉学意欲に燃える学生・生徒にとってこの資金援助が大きな助けになっていることと思う。こうしたことから就学支援事業を行ってきたことは大いに評価できる。ただ、公的な資金援助だけに受給者が有効に活用されることを望む。受給者がどのような用途で役立っているかを具体的に報告してもらえ、制度を設けることも必要である。</p> <p>貸付奨学金や入学準備金の滞納者数が年を追って増えてきているのは気になることであり、また申請者数も大して伸びていない原因についても検討する必要がある。この制度の一層の周知徹底が望まれる。</p>
2	総務課	小学校総務管理事業	小学校備品整備	<p>国の補助金や交付金の援助を得て岡崎市として小学校の備品整備が進められていることは喜ばしいことであり評価できる。</p> <p>教材・教具等は時代とともに進歩発達してきており、より充実した教育環境を整えていくためにはそれぞれの学校における整備状況を的確に把握することと、各学校に相応した整備を進めていくことが必要である。</p> <p>各学校に共通した備品をまとめて購入することによる経費節減をはかることは大切であるが、学校の特色づくりのために各学校の全教員がまずそれぞれの学校の現有備品の整理と活用について確認し、今後の充実に向けての基本計画を立案し整備を進めていくことが望まれる。</p>

3	施設課	小学校整備事業	小学校屋内運動場天井改修	<p>小学校屋内運動場の天井改修と非構造部材の耐震化が設計・工事ともに計画どおり進められており大いに評価できる。またコスト削減についても工夫がなされており関係者の努力に敬意を表する。</p> <p>厳しい財政状況のなかで平成24年度を目途に工事を完了させる予定とのことであるが、児童や地域住民の安全性確保のためにもなるべく早い時期に工事が完了することが望まれる。</p>
4	施設課	小学校整備事業	小学校校舎整備	<p>小学校校舎等施設が計画的に整備改善されつつあることは喜ばしいことであり評価できる。ただ、小学校1校あたり校舎整備費用の達成度がやや低かったことが気になるところである。</p> <p>建物の経年劣化が進み、営繕件数も増加する傾向にあり、経済状況の厳しいなかであるが補修点検等も着実に実施しながら適正な整備改修が進められることを期待する。</p>
5	保健給食課	学校給食事業	学校給食センター管理運営	<p>学校給食センターの老朽化にともなう天井や床面の不衛生箇所の改修や機器、建物、工作物等の修繕は安全安心な学校給食を提供するため、できる限り速やかに行われなければならない。こうしたことに配慮しながら整備が進められている状況は評価できる。</p> <p>給食配膳量は100%で問題ないにしても、残菜量はどの程度であり、どのように処理しているか気になるところである。また、配送業務委託の契約方法についても改善が望まれる。</p>
6	保健給食課	学校保健事業	児童生徒園児等健康診断（小中学校）	<p>児童生徒園児等の定期健康診断が関係者の協力を得て着実に実施されていることは喜ばしいことであり高く評価できる。</p> <p>健康診断結果は学校と各家庭と緊密な連絡をとりながら適切に処置され、健康保持に貢献していただきたい。また、児童生徒の身体的な面のみならず精神面での問題も各学校・園でそれぞれ適確に把握し、善処するよう努めていただきたい。</p>

7	学校指導課	学校教育指導事業	特色ある学校づくり推進	<p>特色ある学校づくりのために市全小中学校に予算が基礎配分され更に特別推進校加配分がなされていることは喜ばしいことであり大いに評価できる。子供たちをはじめ保護者や地域と学校が一体となった教育活動が今後とも推進されることは大変意義深いことであり大いに期待される。</p> <p>ただ厳しい財政状況のなかで予算が減少していることは残念なことであるが、この事業についてのこれまでの成果をふまえ一層の工夫と推進が望まれる。</p>
8	学校指導課	教育研究事業	環境科プログラム推進	<p>小学校から中学校までの9年間を系統的に結びつけた岡崎市環境学習プログラムが作成され、これに基づいたワークシートが作られ環境学習の授業が推進されていることは素晴らしいことであり高く評価する。</p> <p>更にこのユニークな事業が全国にさきがけて進められていることも誇るべきことである。この学習プログラムをスタンダードとして各学校や学年の独自性も盛り込まれていくことを期待したい。そして環境についての知識の習得や体験をすることにとどまらず、持続的な行動力につながるような指導がなされることを望む。</p>
9	学校指導課	就学援助事業	特別支援教育就学奨励(小学校)	<p>特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するための制度は教育の機会均等をはかるうえにも重要な意味をもっている。</p> <p>小学校特別支援教育就学援助対象児童数が目標値をはるかに上回って達成できたことは高く評価する。今後一層この制度と趣旨を関係者に周知徹底させることと、就学について気軽に相談できる窓口を備えておくことも必要である。</p> <p>就学奨励費を支給される児童が多くなってきている状況から、この事業の担当者を増員する必要があると思う。</p> <p>この事業がよく実施されていることは評価できるが更なる改善の方策も考えていただきたい。</p>

10	スポーツ振興課	スポーツ活動支援事業	スポーツ競技支援	<p>体育指導委員を支援し、スポーツ大会出場者に賞賜金を支給し実績をあげていることは評価できる。</p> <p>体育指導委員の研修会参加率が低いのが気になるところである。</p> <p>今後とも活動内容等の検討を加えつつ市のスポーツ振興をはかり、競技力向上に向かって努力していただきたい。</p>
11	スポーツ振興課	スポーツ施設整備事業	岡崎市体育館維持管理運営	<p>市民のニーズに対応し市民のスポーツ振興に貢献していることは大いに評価する。</p> <p>施設設備の定期的な保守点検を行ったり、老朽化した機器の更新は利用者の安心安全のために欠かすことのできないものである。</p> <p>体育館利用者のために施設整備の維持管理には万全を期してほしい。</p> <p>また、競技大会のための利用にとどまらず日常的な生涯スポーツの場として市民が気軽に利用できる工夫も重ねて行っていただきたい。</p>
12	社会教育課	家庭教育推進事業	家庭教育講座開催	<p>乳幼児期、学童期、思春期それぞれに応じた子育ての課題、特に家庭教育に関する講座が開設され、それぞれの所で多くの保護者の参加を得て行われ目標値に近い講座開催率をあげていることは評価できる。</p> <p>もしも保護者のニーズを充分把握していないならば、講座内容や開設方法等について検討し改善する必要がある。</p> <p>講座への出席率をあげるように努力していることと思うが、都合で欠席した保護者に対する連絡は必要なことである。また、家庭教育と学校教育をどのように結び付けていくか、講座開催時に意見交換をし相互の連絡がより密接になるように働きかけることも必要である。</p>
13	社会教育課	文化財保存管理事業	史跡等環境整備	<p>平成21年度は藤川宿脇本陣跡・藤川宿本陣跡資料館の駐車場等の整備を行い来館者の利便性に貢献できたことは評価できる。</p> <p>環境整備を必要とする市内の史跡や天然記念物がまだ多いことから、今後とも全般にわたって点検をしながら計画的に順次整備が進められることを期待する。</p>

14	視聴覚ライブラリー	視聴覚事業	校内放送講習会	<p>小中学校の放送委員と担当教員を対象に「校内放送講習会」が開催され、現役アナウンサーによる講習や校内放送の基本実習が行われ、子供たちの自主性やコミュニケーション力が育てられていることは大いに評価できる。この講習会が技術面のみの習得に終わらず、伝える内容の充実をはかることも大切なことである。つまり学校教育としては言語教育の一環として位置づけられていくことを望む。</p>
15	太陽の城	太陽の城管理運営事業	ウィークエンド活動推進事業	<p>とかく人間関係が希薄になりがちな現代社会において、市内の小中学生が余暇時間を利用してコーラスや将棋、パソコンなどのサークル活動を行い自主的な交流を深めていることは意義あることであり評価できる。</p> <p>定員を超える多数の応募があることから、1年間の活動期間であるならば半年ごとの区切りにしてなるべく多くの人に参加できるよう配慮することも必要である、また、事業内容についても検討、改善していくことが大切である。</p>
16	中央図書館	図書館運営事業	図書館管理	<p>図書館利用者数、図書貸出冊数ともに目標値を上回っており、これに応えるべく図書館設備の維持・修繕・管理運営等に励み成果をあげていることは大いに評価できる。</p> <p>最近図書館関連機器の現代化も急速に進んでいる状況もあることから、図書館利用者の便宜をはかるよう一層の改善に向けた努力をお願いしたい。</p>
17	中央図書館	図書館運営事業	図書館相互貸借	<p>図書館同士の資料の相互貸借によって利用者の便宜をはかり実績を上げ、喜ばれていることは大いに評価できる。</p> <p>この制度を利用する件数も増加してきており、ますますの充実や改善が望まれる。ただ、正職員コストやトータルコストが年々減少傾向にあることは気になる。</p>
18	市民活動総合支援センター	市民活動センター運営事業	市民活動センター運営	<p>図書館交流プラザ市民活動センターは市民活動支援機能を担うとともに地域交流センターとのネットワークを形成し、市民の参画意識の醸成と市民活動全般の活性化を支援する目的で業務運営がなされている。</p> <p>平成21年度は市民活動センター利用者数が目標値をはるかに超えていたり、市民活</p>

				<p>動登録団体が増加傾向にあることなど上記目的に沿った実績をあげており、地域コミュニティの充実に寄与していることは大いに評価できる。市民活動に関する業務をNPO法人に委託していることから、NPO法人に関する基礎知識の伝授や情報発信等が未だ十分でないようであり、今後はこうしたことに関して市民への普及活動が一層高まることを期待する。</p>
19	市民活動総合支援センター	生涯学習推進事業	市民センター講座	<p>主として趣味的内容の定期講座は各センターごとに多く開設されており、いずれも定員をはるかに超える応募者があり盛況である。ただし、講座によっては修了率の低いものがあり検討の余地がある。</p> <p>教養を高めたり生活に直結する内容の市民講座は開設数がそれほど多くはないが、定員を越す応募者のある講座と定員に満たない講座がある。また定期講座修了者による自主講座も開設されている。</p> <p>いずれの講座も一定の成果をあげていることは評価できるが、講座内容や開設時期などの見直しを行い、一層の充実をはかる方策がとられることを期待する。</p>
20	総務管理課	自主事業運営事業	自主事業運営	<p>市民ボランティア団体や図書館交流プラザ自主事業実行委員会が結成され実行委員会の企画により、ボランティアとの協働作業でジャズコンサートをはじめ各種コンサート、ライブ、シネマ、ワークショップ、ジャズオーケストラ育成事業等が開催された。この活動によって図書館交流プラザの魅力向上がはかられ、文化の発信および人材育成さらに集客力の向上等に貢献してきたことは大いに評価できる。</p> <p>この事業が今後行政主導から市民・民間が主体となって企画・運営実施され、より多くの市民に愛される一層充実した事業へと発展することを期待する。</p>